

大村市における 認知症対策の取り組み



大村市地域包括支援センター

大村市



- 長崎県の中央に位置する
- 東には多良岳県立公園、西には大村湾を望む自然豊かな市
- 海上空港である長崎空港があり長崎県の玄関口
- 県内で唯一人口増加がみられる市
- 市花「おおむらざくら」八重桜を二段咲きをした独特の花
- 市マスコットキャラクター「おむらんちゃん」

大村市長寿介護課の体制

介護保険者
(長寿介護課)

地域包括支援センター

大村市福祉事務所

保険給付・資格管理

介護認定調査

総合相談支援

介護予防ケアマネジメント

ケアマネジメント支援

介護予防チーム

認知症初期集中支援チーム

養護老人保護措置

大村市の概況



大村市の人口	9万4,872人
高齢者人口	2万1,775人
高齢化率	23%
認知症有病者数推計	3,266人
MCI有病者数推計	2,406人

(平成28年5月現在)

大村市の認知症対策の対象者

平成28年5月現在

■ 認知症有病者数の推計

高齢者人口 $21,775人 \times 15\%$

3,266人

■ 軽度認知症 (MCI) 有病者数の推計

自立等高齢者数人口 $18,509人 \times 13\%$

2,406人



認知症やMCIの疑いがある人は…

5,672人

新オレンジプランと大村市の取り組み

新オレンジプラン

大村市の認知症施策

認知症の理解を深めるための普及・啓発

認知症サポーター養成講座・出前講座

容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供

認知症ケアパスの作成・活用
認知症初期集中支援チーム
認知症支援リーダー養成研修

若年性認知症施策の強化

認知症総合相談センター・障害者支援社協との連携

介護者への支援

認知症初期集中支援チーム
認知症カフェ

高齢者(認知症含む)にやさしい地域づくり

包括的連携協定 協力事業所
ネットワークづくり

予防法・診断・治療・リハビリ・介護等の研究開発

認知症の人やその家族の視点の重視

家族の会との協働(若年性認知症の会)

大村市における認知症施策の展開

認知症総合相談センター確立

認知症初期集中支援チーム設置

認知症ケアパス作成普及啓発

「認知症支援リーダー養成」実施

高齢者に関する他機関との連携

「認知症サポーター養成講座」推進

認知症総合相談センターの開設 認知症初期集中支援チームの設置



大村市地域包括支援センターの中に 「認知症の相談窓口」ができました



H27年4月～

認知症 総合相談センター

- 認知症の相談を一元的に受ける窓口です



H27年10月～

認知症 初期集中支援チーム

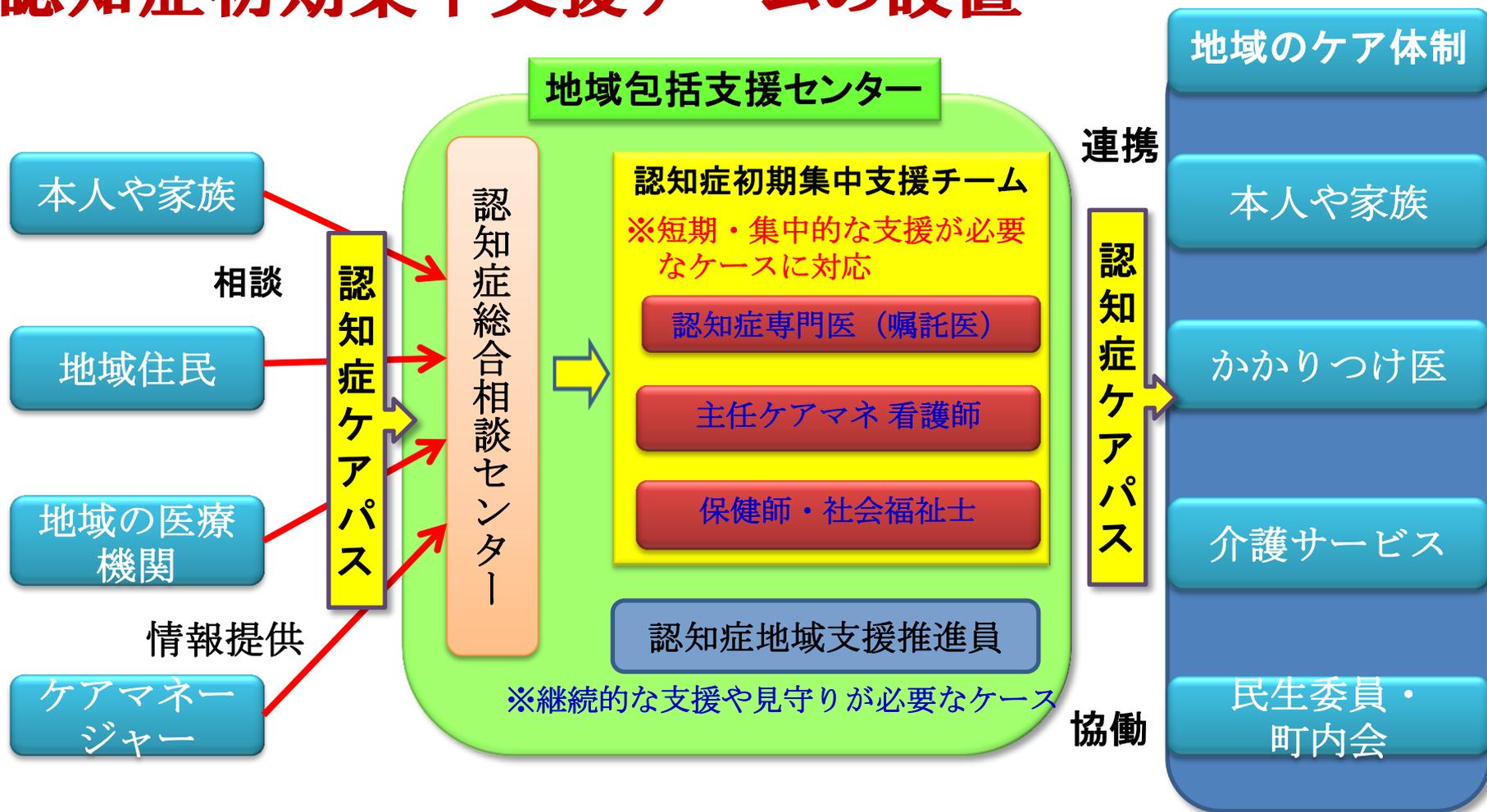
- 認知症に関して、早期診断・早期対応に向けた支援体制をつくることを目的としています



状況に応じて
初期集中支援チーム
が対応

認知症の相談に関する連絡先) 0957 53-8141

認知症総合相談センターの開設 認知症初期集中支援チームの設置



認知症初期集中支援チームの流れ



訪問支援対象者の把握

初回家庭訪問の実施

チーム員会議の開催
～支援方針の決定～

初期集中支援の実施
～受診/介護サービスの推奨・誘導～

初期集中支援の終了
～引き継ぎ後のモニタリング～



相談などがあった場合の連絡先

大村市地域包括支援センター



連絡先:53-8141

※24時間365日電話対応可

認知症総合相談センター (包括支援センター内)

⇒ 認知症に関する相談窓口

連絡先:53-8141 (包括と同じ)

「認知症ケアパス」



大村市
認知症ケアパス



認知症ケアパスの内容



I 認知症について(基礎知識や相談先等)

II 認知症予防の10カ条(川柳)

III 社会資源シート 認知症のレベル別

IV 社会資源シート 事業内容の説明

IV 社会資源シート 連絡先一覧

認知症支援リーダー養成研修



認知症支援リーダー養成研修について

「認知症支援リーダー」とは…

“大村市”と“大村市医師会”が認定
する大村市独自の認定資格



今後の認知症対策の中心を担う人材育成の掘り起し

＜ 認知症支援リーダーの役割＞

- かかりつけ医、認知症サポート医との連携強化
- 市民からの認知症に関する相談対応力の強化
- その他、市および医師会が実施する認知症施策への協力



大村市における「認知症支援リーダー」の位置づけ



大村市医師会

認知症サポート医

or

認知症相談医

医療機関

H26・27年度
認知症支援リーダー
養成研修修了者【基礎】
223名 (修了証交付)
H27年度
スキルアップ研修修了者
116名 (認定証交付済)

介護支援専門員(ケアマネジャー)
地域包括支援センター

認知症支援リーダー
受講対象者

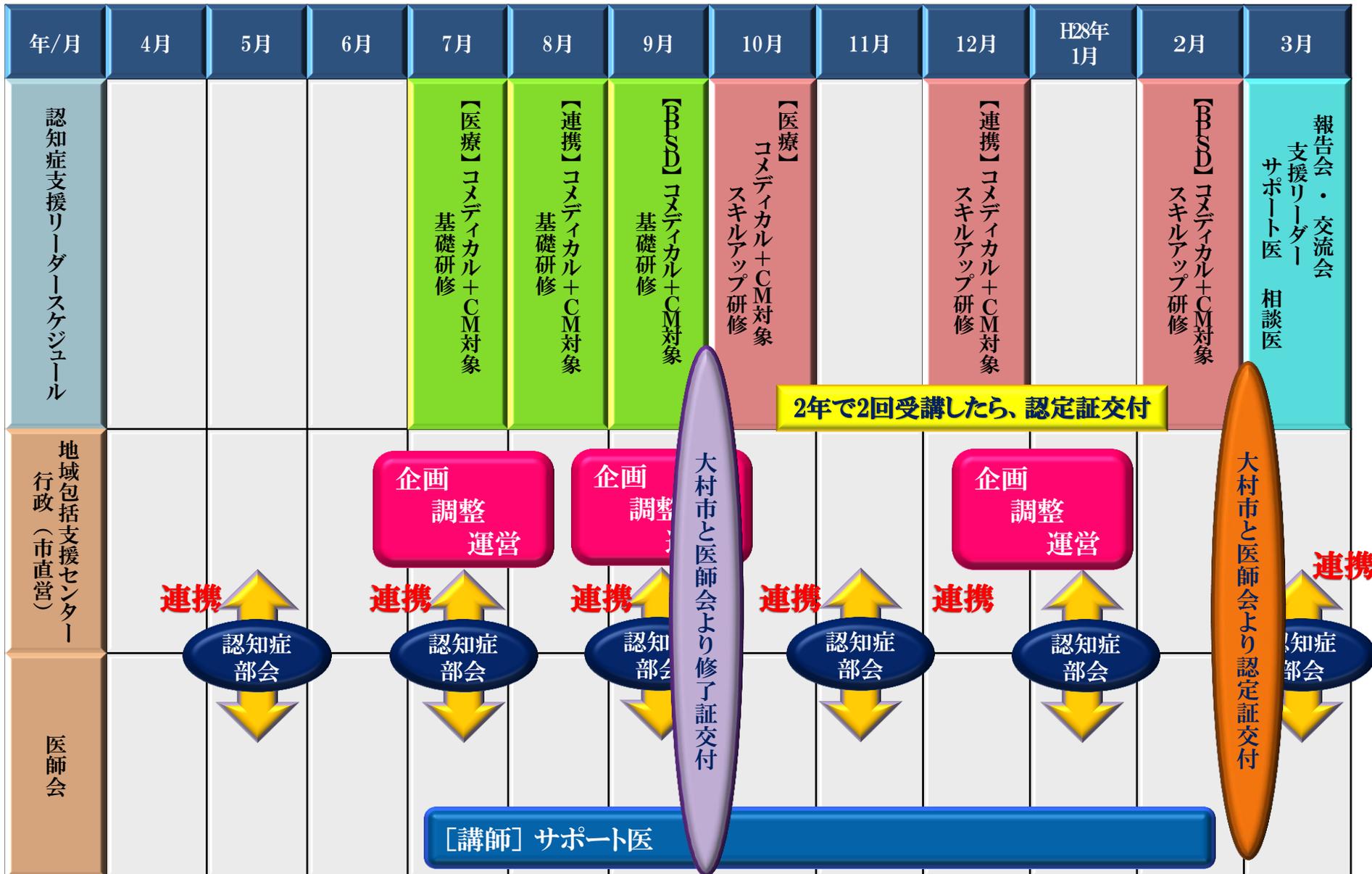
H28年度【基礎】
開催中
受講者数 205名

各分野の専門職等
歯科医師会・歯科衛生士・PT・OT・ST・
薬剤師・MSW・PSW・看護師

認知症サポーター
3年間で1万人目標

市民
認知症サポーター
(市民・事業所・民生委員・老人クラブ・学校等)

大村市認知症支援リーダー養成研修(基礎研修・スキルアップ研修)



講師陣と講義内容 講師) 認知症サポート医



伊崎脳神経外科内科 医師) 伊崎 明

- ・「疾患・治療の基礎知識」 「検査の見方・治療薬」
- ・「地域ケア会議(相談～会議)」 ～ライブ形式～



中澤病院 医師) 中澤 和嘉

- ・「BPSDについて」 ～講義&ディスカッション形式～



山下外科医院 医師) 山下 直宏

- ・「制度・ケア・連携」
- ・「地域ケア会議(相談～会議)」 ～ライブ形式～



うえき心療内科 医師) 植木 健

- ・「制度・ケア・連携」
- ・「Drうえき Q&A」 ～ディスカッション形式～



はら脳神経外科 医師) 原 真弥

- ・「疾患・治療の基礎知識」 「検査の見方・治療薬」
- ・「BPSDについて」



たなか循環器内科 医師) 田中 協栄

- ・今年度よりサポート医として活躍予定

認知症支援リーダー養成研修(基礎研修) 受講者内訳

平成26年度 認知症支援リーダー養成研修(基礎研修)

- ・対象者 … 介護支援専門員
- ・受講者数 … **100名** ※修了証交付者

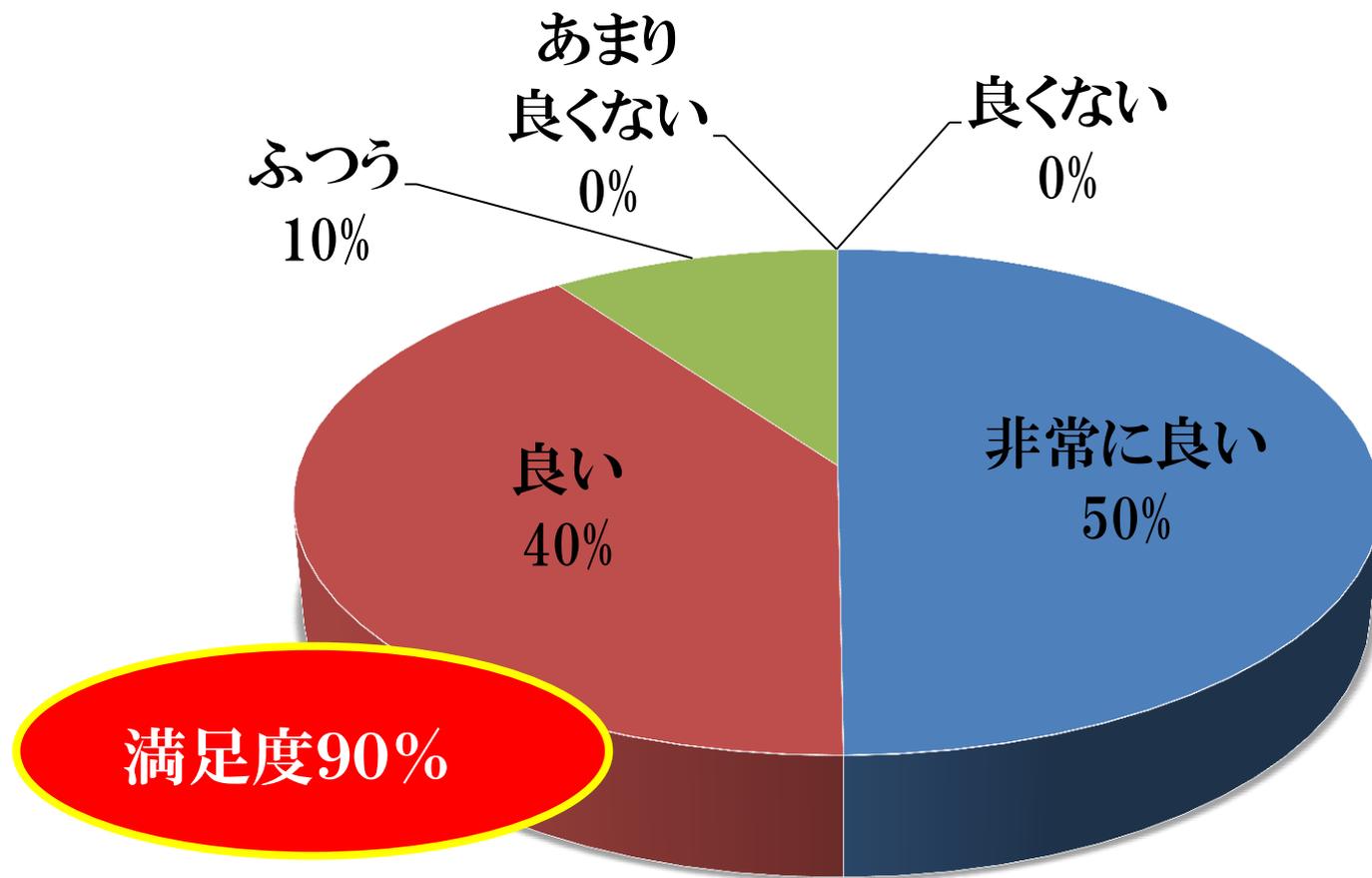
平成27年度 認知症支援リーダー養成研修(基礎研修)

- ・対象者 … 薬剤師、社福、PSW、看護師、介護支援専門員
- ・受講者数 … **123名** ※修了証交付者

平成28年度 認知症支援リーダー養成研修(基礎研修)

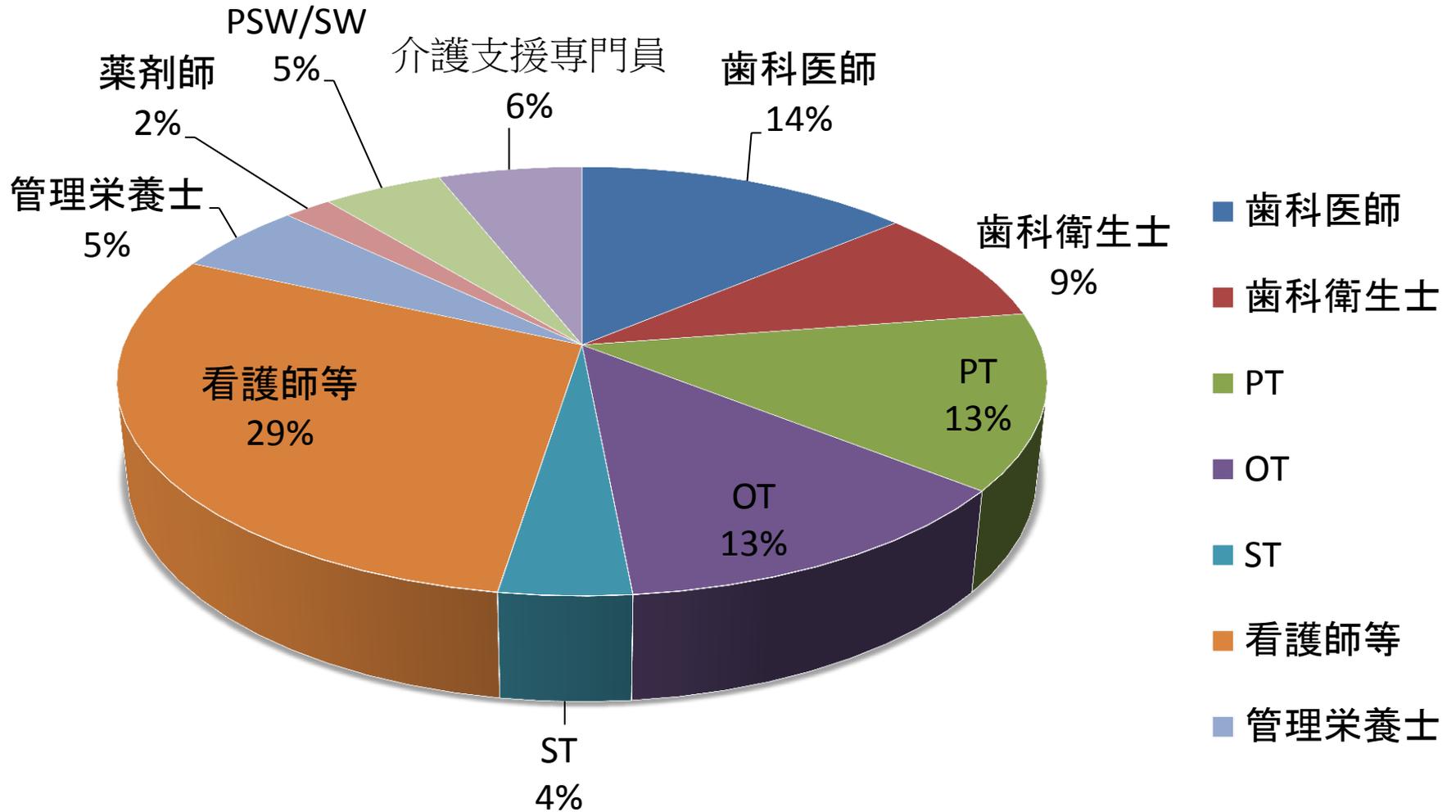
- ・対象者 … 歯科医師、薬剤師、PT・OT・ST、歯科衛生士、看護師、社福、PSW、介護支援専門員
- ・受講者数 … **205名** ※受講申込者数

平成27年度 認知症支援リーダー 基礎研修の 総合評価



■ 非常に良い ■ 良い ■ ふつう ■ あまり良くない ■ 良くない

平成28年度基礎研修受講者内訳



「スキルアップ研修」の意義



“認知症支援リーダー養成研修基礎研修課程を修了し、大村市と大村市医師会から「修了証」を取得された者。

【コンセプト】

今後の大村市の認知症施策の中心を担う、リーダー的存在となる人材を育成することを目的とする。

◆平成27年度と28年度の**2年間**で“スキルアップ研修”を
2回受講すると…



-
- ①大村市と大村市医師会『認定証』
 - ②『認定証』を取得された方の所属する事業所にはステッカーを交付

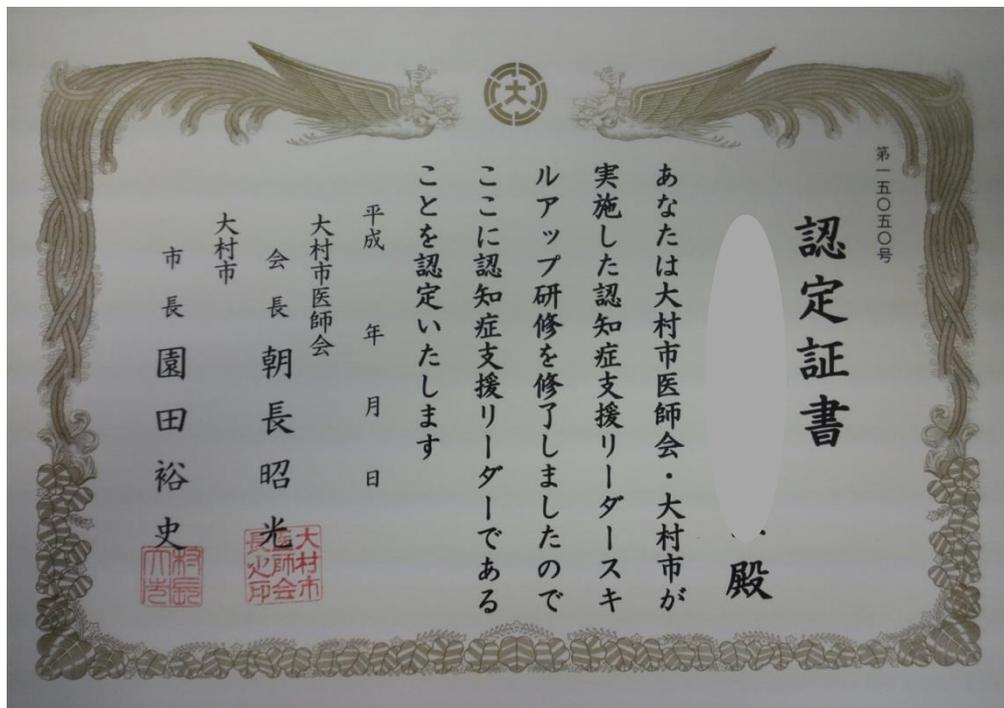
認知症支援リーダー養成研修 (スキルアップ研修)



平成27年度 **スキルアップ研修**にて
「**認定証**」**交付**を受けた方

⇒ **161名交付**

今年度も実施予定！



＜スキルアップ研修＞
2年で2回受講したら、
認定証交付

平成27年度
スキルアップ研修修了し、
「認定証」交付を受けた人
116名

支援リーダーが所属する事業所に
ステッカーを配布





高齢者に関する他の機関との連携



高齢者見守り協定締結一覧



セブン・イレブン（コンビニ）

- ・協定締結日：平成27年3月30日
- ・協定店舗 市内13店舗



生活協同組合ララコープ

- ・協定締結日：平成27年5月29日
- ・協定店舗：店舗事業部・無店舗事業部



日本郵便局・簡易郵便局

- ・協定日時：平成27年6月1日
- ・協定局数：14局、簡易郵便局3局計17局



長崎ヤクルト 大村エリア

- ・協定日時：平成27年8月26日
- ・協定店舗：販売配達員：39名

大村市高齢社会総合対策ネットワークに 関する協定 (平成28年6月10日)

高齢者の交通安全対策をはじめ犯罪被害や認知症
見守り対策等、幅広い内容で連携強化を図る

大村
警察署



大村市

ふれあい収集を実施しています

平成28年6月～



家庭のごみを、ゴミ収集場所まで出すことが困難な高齢者や障害の方等に対し、ふれあい収集を実施しています。(対象条件あり)

※ご自宅玄関前等まで職員が直接ごみを取りに行きあわせて見守り活動として声掛けを行います。

大村市環境センターへご相談下さい！



【お問合せ】 大村市環境センター ☎54-3100

認知症サポーター養成講座



「認知症サポーター養成」について

～「認知症サポーター」とは～

認知症に関する正しい知識と理解を持ち、地域や職場で認知症の人やその家族に対して、できる範囲での手助けをする人のことです。

※国の認知症施策の中に「認知症サポーター養成」の推進が大きいうたっています。
大村市も同様の考えのもと「認知症サポーター養成」を推奨しています。

《認知症サポーター養成講座》

実施主体) 都道府県・市町村・職域団体等

対象者) <住民>自治体・老人クラブ・民生委員・家族会・防災防犯組織等
<職域>企業・銀行等金融機関・消防・警察・スーパーマーケット
コンビニエンスストア・宅配業・公共交通機関等
<学校>小中高等学校・教職員・PTA等



<連絡先>

大村市地域包括支援センター

53-8141
20-7308



平成 27 年度 認知症サポーター養成講座

平成 28 年 4 月 20 日作成



対象団体	対象者	受講人数
事業者	各事業所および団体	929 名
一般市民	町内会・老人クラブ等	570 名
	食生活改善推進員	
次世代	高校生	57 名
平成 27 年度サポーター養成講座 受講人数		1556 名

平成28年度認知症サポーター養成講座

< 推進に向けてのテーマ >

次世代に向けてのアプローチ(人材育成)

< アプローチ先 >

■ 次世代へのアプローチ

① 小中学校関係

② 高校関係 大村城南高等学校(福祉系選択者)

③ 各医療系大学および専門学校

- ・ 活水女子大学 看護学部
- ・ 長崎リハビリテーション学院
- ・ 向陽学園 看護専攻科
- ・ 大村市医師会看護専修高等学校



地域包括ケアシステム

高齢者が住み慣れた地域で、生活を継続できるようにするために、**介護・医療・予防・生活支援・住まい**を充実させるシステム。



地域決着型

「住み慣れた地域で
みんなが支える
まちづくり」

